滿州日報

○報價目
每月收取八角代價所及送報人伕無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分一月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

……糧價錢五吊四百文至五吊
……市共上車三十餘輛
……邊東共來七十餘輛
……元豆六吊九百至六吊八百

一フールスカップ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚綴 十四錢

一卓子 ……
一卓子掛 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一…… 六圓以上十二圓
一廚房用戶棚 七圓五十錢以上十圓
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office, Newchwang.
Telephone No. 29.
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

特別廣告
資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告
竹島丸 十八日出帆太沽、芝罘、門司、神戶
營口丸 廿四日 仝
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話二六番)

瀛船出帆廣告
穎朝丸 十四日 門司、神戶行
金龍丸 十四日出帆 芝罘、長崎行
大龍丸、國見丸 龍口定期
萬成源丸 臨時芝罘定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部 (電話五二番)

新荷着
朝日ビール、スペシヤルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部 (電話五二番)

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告
代理店
潮洲丸 十二日入港乘客謝絕
南越丸 十四日出帆門司直行
能登丸 廿一日入港
ブッシユ兄弟商會
東新口公園地橫 遼來洋行 (電話二十三番)

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋燐火柴鏡表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商惠其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人 田中猶之助 謹白
開設老爺閣街同盛德院內 電話(店一八三番 住所五五番)

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜覺置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿 謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚邇遍知之
正理事 潘玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意兼賣各樣洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃(電話九十五番)
西義順棧內西櫃(電話九十八番)

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(新達) 櫻花牌(福利) 百合花牌(利利) 均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 穎朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷名有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行(電話五十二番)

矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客高愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罇詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

三井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八号)

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

㊊ 鐵道 遼河 裕和盛運輸局
(電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴濤 運輸部主任 高濱驛太郎 謹啓

飯塚工程局 材料出售
啓者本局今與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名遐邇以之架造屋宅及製各色傢俱無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本局新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧急之需 本局主人啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運ヶ貨物交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃設 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書精各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

志岐組 木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委託販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇英國領事館東首 三仁公司 (電話一五〇號) 小島榮藏

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許 丸重洋行
營口西北街(電話一八番) 牛家屯停車場構內(電話四六番)

東三省電報總局廣告

援遲啓者頃接上海電稱、各省將軍都統督撫院提鎭藩臬運道臺各關局廳均鑒美屬舊金山地震成災僑寓各國商工民人驟遭慘厄美廷迅即救援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰豪 聖慈沛發肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯粱使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粵商湊集洋伍千元賑美金電匯一面仍偕各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電明倘尊處本擬籌撥欵項請速滙美京梁使收撥或將欵滙滬交商會轉取收條爲憑代買美金轉滙總祈迅速籌濟爲要 呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳榛沈敦和任錫汾周晉鑣曾鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈各貴官商惠㗅如有軫念同胞慨籌急賑者請速將欵逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民不勝企禱謹啓

東京電報

●司法上の御下問 南部大審院長横田檢事總長及び上京中の各地方裁判所長等十日參內司法上の御下問を拜し御陪食を賜はる

●伊藤統監の來往 伊藤統監十日大磯に行く十五日上京の筈

●暹羅皇族御退京 豫て御來遊中なりし暹羅皇族十一日御退京歸國の途に上らる

●若槻次官の韓皇謁見 若槻次官の一行は九日參內韓皇に謁見し十日晩釜山を出發せり

●鎭海灣の軍港決定 政府は今回愈々鎭海灣を軍港と爲すことに決定せり

●長距離電話の試驗 青森函館間長距離電話の試驗に着手せり

●境界委員長任命 砲兵大佐大島譲一氏樺太境界設定委員長に任命せられ二十日廣島を出發すべし

（以上五月十一日發電）

北京電報

●稅關回收と列國 今回の稅關回收に關する上諭は各國公使に意外の感を起さしめたり彼等は善後方法に就き講究中なり

●英國公使の任命 サトー公使の後任として前駐韓辨理公使たりしサー、ジョン、ジョルダン氏任せられたり（別項倫敦電報參看）

（以上五月十一日發電）

倫敦電報

●露國議會の開院式 露國議會は五月十日に盛大なる開院式あるべし皇帝は冬宮の玉座より演說をなすへし

●露國國法の發布 露西亞帝國の國法が布されたり之に由て君主の權力を鞏固にし議會の勢力を制限すと之が爲め自由派は大に驚き露都に於て昨夜集會を催し數名の國會議員列席せるも軍隊の爲めに解散されたり

（以上五月九日發電）

●駐淸英公使新任 元朝鮮駐剳英國公使ヂヨン、ヂヨルダン卿はサトー卿の後任者として北京駐剳を命せられたり

●練習艦隊の到着 日本練習艦隊メルボーンに到着し其歡迎の爲めに盛大なる準備中

（以上五月十日發電）

雜報

●歐亞最急行列車 東淸鐵道會社にては今回長崎及び神戶の兩地に支店を設置し長崎より海上、浦鹽を經て倫敦、巴里、伯林等の各都市へ十五日間にて到着するの最大急行列車を發し大に東西兩洋旅客の便を計る筈なるが該列車は浦鹽より發し一週間一回の發車にて浦鹽よりモスコー間に僅に一回の乘替を要するのみなりと該列車は寢臺車、食堂車は勿論讀書室及浴室等を備へ裝置は總て華美を極め旅客をして身滊車中にあるを知らざらしむ程美を盡しありと云へり

●桑港市の再建 事變後カリフオルニヤ州廳並に桑港市の官憲及び輿論は共に熱心に當市再建の方法を講究中にして各銀行は既に市內に於て不日業務開始の議を決し重なる會社商店も夫々假事務所を設けて業務を取扱ふに至り又東部諸州の資本家は續々來集して再建事業に投資せんとするの狀態なるを以て商業貿易の恢復は案外速かなるべく從來本邦より當地へ輸入する物品は十中八九は東部へ輸送せらるべきものなるを以て當地方の消費品小部分を除くの外は我對米輸出貿易上には大なる影響を及ぼさゞるべく又我邦輸出に係る當地方需要品中差當り影響を蒙るべきは茶雜貨品花莚等にして日本人用食料品類は別に減退はなかるべしと在桑港上野領事より五月一日附を以て報告ありたりといふ

●樺太境界問題 同問題に關する交涉は現に外務省と露國公使との間に進捗しつゝありて露國側の主張は同島を橫切れるボロジノ河を以て其境域と爲さんとするに在るやに漏れ聞けるが果して此の如くんば同河は所謂國際河流として各國船舶の通航に解放せざるべからざるに至り漁業其他の利益も各國に均霑せらるゝ結果錯雜せる利害問題續出疊見するに至るべしと云ふ

●沿海州外人排斥 露國政府は今回沿海州に於ける漁業經營に依然外國人を使役する事を禁じたるを以て日本人を始め其他從來同地方に出稼を爲したる諸外人は孰れも全く關係する能はざる事となり之と同時に同地各漁場に於て從來漁岸貿易と稱へ漁具若しくは糧食品を輸入し露國人及び居留各國人と貿易を營み來りし外國人に對しても亦貿易免狀を下付せざる事に決したる由にて本邦人中にても右等の目的を以て夫々計畫したる者多く此禁令に依り大に迷惑し居る者少からずと

●撫順炭坑の眞價 撫順炭坑の價値は世說區々にして未だ眞相を得ざるが今占領以來同炭坑の採掘經營に從事せる某氏の談に據れば同坑の炭脈は走向約四里にして厚さ百尺乃至百三十六尺「挿み五十三層此總厚み約十六尺炭質はカーヂフ炭に類似し爐灰並に硫黃の分子頗る少量なり內國一等炭の同分子に比すれば二分の一に過ぎず製造工業用に最便なるは無論滊船、滊車用に最も適すれども採掘材料の蒐集、需要地への輸送等甚だ不便を極め需要方面の情況一定せずんば寶庫も亦寶庫たるの實を擧げ難たし去れば滿洲經營調査會の方針決定を待ちて其採掘方針を決定せざるべからず內國鑛業家の鑑定によれば現時の相場に準ずれば同坑一切の財產は一億五千萬圓內外ならんと、又同坑は一時約二千噸の平均を以て毎日採掘せしも既に凱旋軍の輸送も終了せしとて需要大に減少し隨て採掘高も半減せりと云ふ

●ウ伯辭職の理由 彼得堡來電に據れば首相ウヰツテ伯は國政に對する帝國議會の發議權を空名に歸せしめ同時に政務を自由に處理するの權能を首相に附與する不可解意的の法律を發布せんことを主張したるも皇帝は之を以て公約を破毀する危險不明の企圖なりとし裁可を與へ賜はざりしを以てウヰツテ伯は遂に辭表を提出したるなりといふ

●東淸鐵道烏港航路 東淸鐵道屬船第三オヘヨー號は來る十五日より長崎烏港間に航海を開始する筈なるが右は西伯利亞鐵道に依る大陸、日本間直通聯絡線に充てられたるなりといふ

●滊船會社設立事情 社外船主間に於ける一大滊船株式會社創立計畫は多數船主の贊成を得準備も着々進捗したるも其後或事情の爲め一時行惱みの姿に陷りしが今回大觀兵式に際し一部船主の上京を機とし東西船主は更に協議を重ねたる結果淺野總一郞氏の援助を得設立組織の上に更改を加へ株式募集等に關しては外間の力を借らざるを根本主義とし創立準備を進捗せしむることに決したる由にて近々京濱井に西部船主會合の上是等に關し協議すべしといふ

●滿韓の殖林と樹木 農林業調査の爲め豫て滿韓地方を旅行中なりし池田早稻田農園主の語る所に據れば同地方には松苗最も適當にして彼奉天の北陵京城の舊王城等何れも之を證して餘あり即ち兩地とも四五尺の老樹鬱々として恰も東京の芝山內を歩むの心地せり又我農園より送りたる苗も目下頗る元氣よく新芽を伸しつゝあり松に亞ぐはヘンノキ、栗クヌギ等にして落葉松も亦幾分の望あり杉は至つて六ケ敷もとノキは或は多少の生育を見るに至らん云々

●遼陽短信

五月七日 綠城生

▲遼陽州官設醫院 同院長岩田淸三郞氏は去る五日着任せり同氏は元警視廳囑託醫にして赤十字社醫員として刀圭界における敏腕家の聞えあり學識又富贍なりといへは同院の爲め將來見るへきものあらん同院は五月十日より診察時間を左記の通り改正し汎く內外人の診察に應する由

施療患者 午前九時より正午迄
普通患者 午後一時より仝四時迄
往診 午後四時より

▲關東總督府の跡 督府の跡家屋は第十六師團本部其他同師團兵士の宿舍に充用さるゝこと、なり督府の移轉と同時に其跡へ引移れり尙遼陽憲兵分隊は城內より同所に移轉し其跡へ派遣所を置かれたり

▲日本人會花籠を贈る 當地日本人會は總督府の移轉に付き華美なる花籠四個を贈り送別の意を表したり

▲入院料の値上げ 婦人病院の入院料は從來一日一人銀三十錢の規定なりしが收支償はさるより其筋に於て本月一日より銀一圓と改正せらる

▲遼東館の營業停止 先頃より軍政署に於て本邦人の各戶に就き嚴密なる淸潔檢査を行はれつゝありしが過日當地屈指の料理業遼東館は不潔の廉を以て一時營業停止を命せられたり

●奉天の物資 目下物資中最も潤澤なるは米にして米は概ね拂下品にして奉天の相場にて一石十二圓乃至十五圓の品最も多し米に次て多きは醬油及び味噌にして味噌の中には腐敗せる物も隨分之れありと云ふ尙ほ材木類も甚た少からさる方なりとなり尤も木材は味噌醬油に反し土人の買入相應にあれは品の潤澤なる割合には氣合は强しと

●昨今の軍票相場 昨今我軍票の信用益ゝ鞏固と爲り遠く四平街公主嶺邊迄も其流通を見るに至るとは昨紙四平街歸客の談話に徵するも明なるが當營口に於ても軍票の價格益ゝ好況にして郵便局の爲替相場は此月曜日よりして一圓一錢五厘の價格を保ち正金銀行の如き昨日は更に騰貴して百二圓二十五錢と爲れりといふ

●營口消防組に就て 營口消防組の創設せられてより日已に久しく在留邦民亦多大の同情を以て金圓を寄附し其日に盛大ならんを期せるに何等の爲す所なく荏苒今日に及べるを深く遺憾とせる所過日各料理店の盡力により出初式さへ擧ぐるに至れるは在留民の均しく慶し且つ賀する所なりしに豈圖らん弊實依然として舊の如く遂に官憲をも煩はすが如き大失態を演ずるに至れるは同消防組の爲め最も惜しむべきの至りなりとす在留民有志が多少なりとも貴重の金員を投じて其維持に勉むる所以は決して斯る無用の長物を養はんが爲めに非らざれば非難の聲の未だ大に外間に溢れさるに當りて同消防組たる者三たび思を致さんとを要す

▲落合參謀長の出發 一昨夕新民府より來營せられたる落合參謀長は昨日午後九時半牛家屯發滊車にて出發歸府の途に就かれたり

▲貯蓄債券當籤 橫濱正金銀行牛莊支店にて過般賣出したる一號貯蓄債券は此程抽籤を行ひたる所左記番号のもの二圓割增に當籤せりと

第一〇二五七番 第一〇二六三番
第一〇三二二番 第一〇三五四番
第九九三六六番 第九九四〇五番
第九九四三三番

▲鐵嶺彩票の開票期 鐵嶺軍政署內に於て行はるへき奬學彩票の第一回開票は意外の延引と爲れる爲め世人の疑惑を招きつゝあるが愈ゝ此十五日には開票せらるへき由なれば各自安意せらるべしとなり

▲インフルエンザの流行 頃來の惡氣候の爲めか目下市中にはインフルエンザ流行の徵候あり或家の如きは一家を擧げて該病に冒され居るものあり等閑に附し置く時は往々肺炎に變症するとあれば感冒に罹りたる者は大事に至らざるに先ち醫師の治療を乞ふと最も肝要なるべく殊に夜間の薄着などは深く注意すべしとなり

●三木回天堂の披露宴 當地永世街なる三木回天堂薪房にては今回堂主及び主任とも來營せるに付昨十一日午后五時より披露の宴會を金城樓に開きたりといふ

●遼陽州官設醫院（上）

綠城生

▲醫院と淸國人 遼陽州官設醫院は其の名の如く淸國官憲の下に設置され目下知州何厚琦氏の經營にかゝるものなるが今や着々設備中にあれば其完成の曉には淸人は上下の別なく苟も病苦に惱めるものは踵を接して治療を覓め必ず文明的日本醫術の進步に驚くなるべく從來草根木皮を唯一の藥餌と仰きたる彼れ淸人も是れより始めて長夜の迷夢を破ぶり日本的醫術に信賴するに至るは予輩の信じて疑はさる所なり

▲其創立年月 今此の遼陽州官設醫院の沿革概要を聞くが儘に記述せんに時は一昨年九月遼陽の陷落後間もなく軍政署直轄の下に施療院と稱して開設し普く淸人の爲めに無料治療を施したるに當時患者は二百名內外にして刀圭の局に當りたるは某軍醫と赤十字社醫員西川錄三郞の兩氏のみなれば其多忙さ加減は今に於て推知するに難からず

▲博濟醫院 然るに淸人の頑固なる施療院の施の一字に拘泥し治療を受くるを屑しとせさる傾きあるより爰に名稱を改めて博濟醫院としたるに不思議にも新患者俄ち數十名を加ふるの奇觀を呈したり

▲淸國官憲の管轄 其の後某軍醫部長及中尾兵站司令官は協力して當時の知州鎭金鑑に謀り該院の經營即ち經濟を淸國官設に移したるも醫員は依然として舊の如くに某軍醫と西川赤十字社醫員の兩氏此に當りたりしが知州の交迭となり就中新思想に富める現任何知州の職に就くや銳意斯業の發展を期すると共に西川氏は熱誠を以て患者に接し懇切に治療を加へ且つ順次內部の設備に怠りなく大に內外の注意を拂ふに至れり

▲西川氏の歸還 斯る折柄某軍醫及西川醫員は昨年十一月凱旋歸還となりたり其後は軍政署附軍醫之を担任せしが凱旋したる西川氏は再び本年二月來着したるも間もなく腦充血に罹り經過不良なるより三月二十七日遼陽を辭し歸還の途に就けり

▲專任醫師の招聘 以來は從前の如く軍政署附某軍醫担任して患者に當れるが愈ゝ專任醫師を招聘する事となり赤十字社醫員岩田淸三郞氏既に東京を出發したりといへば數日の內來着すべき筈なり新任の岩田醫員は嘗て警視廳囑託醫として刀圭社會に於て敏腕家の聞えあり學歷は帝國大學別科の卒業生にて今回從事に際し手腕を振ひたる一事は人の敬服する所なりと云ふ

▲今後の同醫院 されば來着後は經營上の刷新發展を期すると共に遼陽淸人の被むる恩惠は益し多大たるべし而して目下同院にある藥劑士小倉谷作氏は曩に西川氏と共に同院に入り今尙任務に服して淸人間の聞え頗る高しといへば今後該醫院の隆盛は期して竢つべしと爲す

●東西南北

ボーツマウスで一段と器量を上げたウヰツテも內閣を到頭持ち切れ無いで退隱した猿も木から落ちるといふが男振りが之れで一割方は慥に減つたであらう▲辣腕の鶴原が老爺の留守中に辭表を出したといふ話だが丙午の歲は天災のみで無く妙な所に異樣の變徵を萌さして來る▲淸國留學生今尙學生取締規則に對して反抗の態度を取る者があるさうな頑迷度し難きは由來チャン公である▲凱旋大觀兵式及び大勅祭を機會とし三十七八年戰役を紀念すへく遞信省より發行した繪端書は戰役が戰歿と爲つて居るさうな遞信省の繪端書は何時も不出來であるが今度のやうな大失態は寧ろ滑稽である、▲鐵嶺に珍客が來た高砂萬歲であつたが廣告に利用するとも出來ず名を去り實を取るとは此事ぢやなんて洒落込んで居るとは面白い▲加納子爵東京新井村の學務委員と爲つて村內の小學校を巡視し又自分の校長たる產原中學では他の敎員と同樣七錢の辨當を食ふ近來の一佳話である▲野田豁通が明治の初年に膽澤縣の大參事をして居た時今の齋藤海相と後藤新男爵とは小使をして居たもの、さうぢやが野田の引立で段々立身したのであるさうな▲奉天敗戰の際聯隊旗四旒を隱匿して本國へ持ち歸つた功で士官はウラヂーミル勳章を下士は軍時功勞證を授けられたさうだが戰敗國の論功行賞は却々面白いのがある▲米國は總べて今度の震災義捐金の寄贈を謝絕するさうであつたが我皇室の二十萬圓丈けは有り難く受納するとにしたさうだ好い面の皮は淸國である

●色男の引張蛸 茲に海岸は日露ホテルに奴といへる大の不見轉拍子ありけりとぞ斯んな娼賣すりやこそ厭なお客やイク好かない人の機嫌氣褄も取らねばならぬ身の因果、妾だつて好いたい男の一人や二人はなくてこの躰が續いたものでないと妙な所に屁理屈つけてこの程からあれかこれかと情夫の選定中なりしも兎角これならばと思ふ者もなき所から奴さん大にジレ込み、思案投げ首氣も逆上せん計りの有樣餘所の見る目も憐れなる寠れ加減尙も誰彼と考案中フトお目に留まつたのは是れ迄時折り〇〇病の誤厄介に預る醫者殿に當りをつけたる所、何が扨て何んでも御座れの男地獄式の籔先生、ヨイシヨ待つてましたと早速てゝに妥協案が成立したので奴は命の洗濯血道を上げて本統に妾嬉しいワと夢中になつて朋輩衆にまで惚氣散らして居るのを矢張り同家のエスキモーと云ふこれ亦奴に劣らぬ白首拍子、奴の惚氣を苦々しく思ひヘン妾だつて箔の一つや二つと飛んだ所に意地を持ち內々籔先生を呼び出してこれも妙な情交となり双方負けず劣らず先生を引張廻して娼賣もソッチ除けゝ今は互の角を逆立て兩人睨合の姿に籔先生高くない鼻をピヨコつかせてヘン色男はてんなものでグースなんとは生れ落ちてより來の大得意とぞ申し侍る

火車

關內外鐵道 上り 下り

東淸鐵道
新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、一七
溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、一七

謹告

歐米各國最新流行形

天氣豫報 營口地方 自十一日午後六時至十二日午後六時 天

雜報

●鐵道受領みちくさの記（二）　はまのや

予れ昌圖府に終程せんとす、落暉將さに西に沒せんとする午後六時半より、暮雲千里の色、心を傷ましめざる處なしとかや、流石に決心はするものゝ馬夫と予との二人のみを以てして而かも暗夜八十淸里の鷲鶯樹に達せんとす、多少心淋しきものなきにあらす、宿の主人松本君に請ふて短銃一挺なり護身の爲め携帶せんと議る、松本君一喝の下に余を叱して曰く止せなんの護身三昧、若し馬賊出なば身グルミ脫して彼れに授けよ、彼命迄とは決して需めす、如かじ其覺悟を以て行くべしと、予大に悟道に入る恐怖の念雲散霧消し去つて心氣爽快、將さに程に上らんとす、松本君殊勝にも言葉柔しく予か行歩を止めて授くる者ありといふ、受け之れを見る焉そ知らん是れ馬賊保險の旗、昌圖公司の專賣物朱線の丸に昌の字を墨黑々と書き現したるものなり、曰く之れは是れ昌圖公司の馬賊保險旗なり君の命も慥かに保險すべし携帶以て安神して程に上るべしと、鰯の頭も信心柄とやら、心に迷ひある悟らねばこそコックリ様にも様の字をつけて勿体かる有藏無藏、一体保險なんぞといふ事も唯安神をさせる一の手段に過ぎず萬一の事があつては夫れこそそれまつたものにあらす、然し當時の予の境涯時に取つての好賜戴いて之れを受け先つ一振振つて見て、劍を杖いて千里行くの勇を鼓す

　春風や貰ふた旗を振つて見る
　春の夕巡禮の子に何くれた

愈よ昌圖府を發す、鷲鶯樹附近迄の道路は是れ我工兵の手によつて成されたるもの路傍に溝あり川に橋あり道巾又廣し然し道路破壞器とも稱すべき支那馬車の往來頻繁なるに至つてはいかでか永く我工兵苦心の跡を止めん、殊に雨後の道路、轍の蹟或は深く淺く亂雜にれ幾十數條錯返しコネ返し乾固まりたる道路は洪水後の石河原の夫れにも優して惡路譬んにものなし、馬車の動搖右に左りに頭を打つけらるゝ事頻りなり

　旅の苦を一人呟く寒さかな

乘るに耐へす下りて歩す、馬夫何やら余に對ひて物言ふこと屢々なり、予素より淸語を解せず、鉛筆を採り手帖を出して渠れの言ふ所を聽かんとす、渠れ手を振つて應せす、無筆なるにやあらむ

　春の旅啞と聾の二人かな

行くこと約十四五淸里日は全く暮れたり、さなきだに胡地の夜ざの風光、遠く猜々犬聲を聞くの外、闃然として四隣聲なく彌か上に夜色沈々たり、準備し來りし提灯に火を點して先に立つて行く、馬も闇夜心細きにやあらむ、灯の影をあちらにこちらに追ふて尻して蹄の歡を運ぶものゝ如し

　馬も亦人の道連れ春の旅

行くこと四十淸里、闇夜の惡路馬いたくつかれたるにやあらむ蹄音遲々たり、馬夫又動かす、強て余を驛路の一寒村異隆泉となん呼ぶ所の客舍に誘ふ、止なく此所に一睡を貪ることゝせり

●田庄臺の花　なにかし

田庄臺の花今を盛りとの報に同志を語らひ一日の淸遊を試む午前八時河北停車場に抵り滊車に乘る一行男女十四人一聲の滊笛と共に進行を始む右顧すれは滾々たる長流屈曲して蛟龍の大地に横はるか如く、左眄すれは茫々たる荒野を隔てゝ渤海灣上洪波淘湧、目を窮むれは空水一碧水か空か、空か水か、髣髴として辨すへくもあらす、紅草窪、小莊子等の村落を車窓より見て八時五十分田庄臺車站に着す、下車して南歩すること一里始めて市街に入る　土人の珍らし氣に飛び出てゝ一行を眺むるも可笑し町を貫きて流水靜かなる遼河々畔に出つ、此には本日東道の主人たる余村氏の經營にかゝる周圍十間、高さ十八尺の貯氷所あり、其前方及左右皆梅樹にして老ひたるあり、若きあり、爛熳として咲き揃ふ樣は雪の如く絮の如く遠く對岸の綠楊と相映じて佳景言ふへからす梅林を北に續きて百數十株の桃樹、紅唇將に綻びんとす、想ふ滿開の曉は實にや一帶紅霞を曳けるが如けんが花下ビールを酌む數杯、思ひ〳〵に附近を散歩す時は早や正午予は二三氏と共に貯氷池を觀る是れ戰役中御用船の飲料水を取るへく造れるものなるも今は廢れて用を爲さす、彼方此方をそゞろあるき元の場所に歸れは時已に三時を過ぐる半鐘乃ち梅桃數枝を手折りて此の佳境に別を告ぐ四時半田庄臺車站に着し山海關より來りし滊車に乘る途に遼河々畔香る花のあたりを眺むれは天高く白雲低くかゝりぬ談笑の間遂に河北車站に着す。時に夕陽已に西に春ぎ濁れる水、其れに浮ふ黑船、ジャンク、水の上低く飛ぶ鷗共に美しき夕日の光を浴びて悠大且つ壯嚴なり一行は舢舨に乘りて再び黃塵堆裏の人と爲る門をくゞれは時を報する六つの響何時もより大きく聞えぬ。遊後二日月光皎潔夜色寂寞たる南窓燈火の下に幽かしき梅が香を硯に溉ぎて此記を作る

●營口花信　都樓の若蝶さんは飯塚工程局に能く似て居るといふとである▲公樂園のおりん女將は此頃大勉强で御役所の宿舍迄猫共を引具して御機嫌伺ひに出るげな▲第三樓の大立物は米子さんとお雪讓である米子さんは三十四でお雪讓は丁度兩手二倍である▲此お雪讓が即ち營口に雷名を轟して居る第二世お雪であるが何んだか孤のお化見たやうだと皮肉を言ふ者がある▲喜太八裙は第三の口學士だと申します▲お花さんは營口第一の美人だといふ誤最負があるお芽出たい事ネ

廣告

緊急廣告

在留邦人子弟小學部（當分尋常科）愈來る十四日より開學候條入學志願者は至急手續きせらるへし

營口瀛華實學院

廣告

來る十三日（日曜日）午後七時校友會例會を兼ね藏内正太郎君の送別會を祇園閣に於て開催仕度候間御出席被成下度希望仕候準備の都合有之候に付當日午前中迄に元神廟街四十四号滿洲通信社迄御出席の有無御通知の程願上候
追而校友以外の御方にて御贊成御出席被下候は、喜んで御迎可申候但し會費金五圓當日御持參の事

早稻田大學校友會
幹事

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す　（産婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

銘酒劍菱　新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也

遼陽停車場向ヒ
池上出張店

御料理

板場新來了料理は高尚ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ雪月花ノ會席ト仕餘打テ一圓ノへ御意ニ從ヒナンデモヂス
ゲンシン
ビヨガイ
まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　ふで
全　松吉
全　二〇か
義太夫　牛莊

御客樣方

瀛船出帆案內

南越丸　十四日出港門司直行

御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尚御手廻荷物當店迄迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

一、[illegible]船代理[illegible]貨物仲立輸出入稅關ナ[illegible]
解船人夫運搬請負　諸品委托賣買
水陸輸送貨物仲次所　倉庫業
西北街　德重洋行

大勉强

一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前錢三十錢より
一まめめし　御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候

營口元神廟街二〇九號
月　日　翁亭

開業

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

月　日　元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司
廣告

和洋雜貨

盛逵商行

新着
椅子。卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油冬加織。ピロードセン。

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊ひを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町
梅廼家
田村瀧太郎

美味安價西洋料理　牛莊亭
營口永世街五十二號鶴の湯東隣

材木販賣
荒物

秋田洋行
營口永世街第一八四號牛野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

發賣

料木、杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣

捌荷洋行
營口元神廟街
（電話一四七番）

資本金參拾萬圓
日淸合股

昌

滿洲昌圖株式會社營口分局
營口元神廟街第貳九八號

總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

一本公司出經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨准兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關内外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路概要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白倘路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

料理店
滿月
平野町電話一六二
滿月支店
平野町入口
店主　靑木勝惠

質屋營業

精々勉強御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南遼第三十六號
北斗洋行質屋部

一稅關手續
一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委托販賣
一荷物保管
取扱
營口市街　永世街鐵道驛前
精心洋行

右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尚日々Ⓒの腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

GERMANIA BRAUEREI, TSINGTAU

Light Beer after Pilsener Make.

Dark Beer after Munich Make.

in barrels of 25–50 litres . . . per litre $ .28
,, cases of 48 1–1 bottles . . . ,, case $11.50
,, ,, ,, 80 1/2 ,, . . . ,, ,, $13.50

JULIUS JASPERSEN
Sole Agent for Manchuria.

青島釀造獨逸ビール一手販賣廣告
ペルシナー種ライトビール
ミニヒ種黑ビール
樽各種アリ
二五リートル入ヨリ五〇リートル入マデ各一リートルニ付廿八錢
大瓶四ダース入一箱十一圓五十錢
小瓶八十本入一箱十三圓五十錢
滿洲特約一手販賣店
營口 德茂洋行
支配人ジユリヤス、ジヤスパーン

各國高等雜貨
電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
川文洋行雜貨部
營口永世街

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

生徒募集
營口瀛華實學院
招入學生
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然斯次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點過期不候特白
營口瀛華實學院
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し義に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

(營口永世街)
回天堂三木大藥房
存案 招牌
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶材料
●肥皂(胰子)牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●紫醫藥應用所有一切貨應俱全
(電話百九十番)
凡所備置各貨均皆實心揀擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤耑此佈告

工
飯塚工程局材料部
營口元神廟前
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東淸鐵道遼河貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋鑵詰、食器 內外煙草、葉卷 ニツプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醬油 酢、木炭、其外 色々 御並に小賣
彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣
本店 長崎 支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

發賣 材木 煉瓦 木炭
塩川商會
遼陽小西門內 鹽川商會
●建築用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右ヶ品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也
淸國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)

自造 煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

ペンキ塗請負 京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

一關內外盧漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但鈔關事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)
御席料理 和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月 日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

一、稅關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場時計店北三ノ二階樓階
宮原公司

營口—〇—大石橋—〇—海城—〇—湯崗溫泉全停車場—〇—遼陽—〇—奉天
滿洲第一 湯崗溫泉
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

會席料理 三日月
營口警務課前南に入る

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御淸康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候 敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
(電話一四四番)
各位

時刻開行

山海關發 …
山海關發前八、一五　五、〇〇　北京發前八、〇〇
塘沽同后二、二〇　四、一〇　天津同　一一、〇九　六、一五
天津着三、四〇　五、五五　塘沽同后三、三一前一〇、四五
北京發三、四〇 六、四五　山海關着　六、二〇　六、一

大石橋着同七、三〇　一〇、三〇　營口着同六、一〇　三、一〇
大石橋發前八、〇五　后二、〇五　大石橋發前七、五三后一〇、五三
南關嶺后九、〇七翌后三、〇七　奉天　同后三、五七前　六、五七
大連着同　九、五〇　同　一、一五　鐵嶺　着同七、三三同一〇、五三
昌圖着　一二、一三

鐵工
山船機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
綏定商門會街東
喜□工場

旅行中の處本月七日歸營仕候
永世街
東洋醫院　山田長

西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目)

氣象豫報

(百二十七號)

南の風曇り

昨日の氣溫　昨年と比
最高溫度七十度七　低六度三
最低溫度四十三度七　低五度六

宮門抄

十四日

戶部　宗人府　正白旗値日　外務部引見三名　禮部四名　刑部十名　翰林院八名　欽天監四名　提督衙門二名　正紅漢九名　順

王論假十日　黃豫續假十日　松公請假五日　延侯請假兩個月修墓

醇啓文鑑伺候　召見　堂儀司奏十七日祭

奉先殿倫貝子行禮

召見軍機　福啓　文鑑

皇太后
皇上明日辦事後還宮

財政處遞封奏一件

論說

論俄人不即撤兵之意見

日俄和議既成。兩國撤兵問題。均以十八箇月爲定限。換約之後。日政府遂實行其毫不侵占中國土地之主義。所有滿洲境內。屯駐備戰之兵隊。依漸撤退。果決逕直。並無游移遷綏之意。瞻前顧後。別存觀望私圖。惟以及早開放門戶。多立商埠。俾與各國均沾其利益。同享其幸福。意至善也。凡在列邦。莫不贊而成之。以期平均其權力。普受其維持。而俄則不然。中日交涉之協議。已酌定於數月之前。獨至中俄協約。迄今尚無端緒。聞俄使璞科第君。性情狡詐。手腕敏活。實具外交家老奸巨猾之手段。故於此次協議。非託病延緩。即任意支吾。微窺其隱。蓋不欲此約之速成。而別有謀書也。已甚彰明較著。爲舉世所共知矣。所以撤兵一事。數月以來。撤還無幾。於日軍之迅速撤退。大相逕庭。考其實數。不過十分之二三。餘軍尚駐於滿洲境內。歸國無期。既不恤士卒久戍之怨咨。亦不恤列國公論之指摘。且於開放門戶之事。多方施其阻力。決無樂觀厥成之意。以彼失之於西。方始謀之於東。今東又失其獨握之權。不得不於奉天吉林之外。注重於江省一隅。若實行開放各埠。萬國競爭。尚不知鹿死誰手。斷難獨有其利權。況俄素行詐僞。詭變多端。原其居心。厥有數便。一則駐兵在境。可隨時施其恫喝也。中俄議約。至今尚無定規。種種機關。皆可因時變幻。苟如願以償。得足償失。亡羊補牢。未爲太晚。收之桑榆。或能有益。設中國政府。態度强硬。不能一切俯從。彼將以威喝之虛聲。聳人觀聽。若因虛聲而獲實際。是誠計之得者矣。此晚撤兵隊之一說也。一則駐兵在境。可隨事而肆其要求也。日本經中國政府允許。所得之利權。俄人亦涎視之。推原其故。一爲强占而得者。一爲退還而得者。權利雖同。情勢殊異。今俄人視綫。萃集於此。思謀其均一之勢力。彼得之而我亦得之。干戈在前。敎盤在後。稍形優絀。即事要挾。倘成劃一之規。又無分別之處。畸輕畸重。調劑爲難。俄思藉其軍威。俾無求而不得。此亦晚撤兵隊之一說也。一則駐兵在境。可隨地恣其侵略也。如漠河觀音山等處金礦。江省一帶。多數之森林。前經程留守派員查勘。均被該軍阻回。並稱協約未定。尚不知屬之何人。無庸先行查勘等語。旋經政府駁議力爭。迄未收回自辦。是俄人垂涎已久。有意侵奪之明證。況西藏之事。中英約已簽押。俄人視同已產。一旦割讓他人。未免大失所望。故現於伊犂新疆等處。極力運動。謀抵制英人之權勢。其貪婪無厭之慾。雖經此大挫。而百折不回。是亦俄人之性質使然也。此又晚撤兵隊之一說也。總之俄人陰險猛鷙。惟利是圖。屢蹶屢起。貪心不死。今値敗衂之餘。亂離之後。不知休養生息。培國家之元氣。導黎庶之生機。蓄士卒之精銳。當此之際。死灰尚欲復燃。假如行爲過當。竊恐衆怒難犯。公論莫逃。不審俄人何所恃而不恐。不速撤兵。反對開放。誠令人難索其解。而莫悉其屬意之云何矣。

中外要聞

●湘省會匪猖獗　湘省岳州府屬平江縣一帶現有哥老會匪聚衆蜂起勢極猖獗提倡排外仇教且反對政府法美等國駐京使署接到警電即照會外部請飭保護教堂教士外部當即電飭鄂督湘撫會同勦辦茲據鄂電刻正由鄂湘兩省派兵勦辦想日間可就平靖並聞目下教堂教士均未受擾累云按湘鄂一帶由來會匪淵藪不速勦撫則各處匪黨聞風響應以致勦匪難得手矣

●各省匪耗彙聞　浙省湖州一帶有匪徒將與教堂開釁一節已誌昨報茲據浙撫覆電刻已派兵保護教堂教士地面安靖並緝獲首犯猶未就捕等語已由外部據情轉達美使矣又聞奉省東部頃有鬍匪聚衆起事肆行劫掠毫無顧忌雖現由奉省派兵勦辦然未就勦撫反而各地莠民聞風響應兇燄益加猖獗頗屬可慮云

●法商邀求宜重航路　川省地大物博農產之利礦產之富甲於天下但惜地處邊僻四面皆山嶺僅有長江之天塹以通商旅耳然船舶往來此間者皆係民船販運之利未能十分暢旺故若用小輪往來其間可多得利益且於四川商務亦頗有裨益固不待智者已明矣但其間所謂三峽之險而急湍奔流舟行甚險故世人皆慮萬一未致開通輪船頃聞有法商欲籌集股票開設小輪拖船公司自宜昌抵重慶前已稟請法使與外部磋商允認現法使照會外部請援照內河行輪章程允認此權並請轉飭南洋大臣鄂督照常保護但未悉外部如何答覆

●外部咨飭贛撫照約駁阻兵艦入湖　贛撫胡中丞因上年英國兵輪司乃普駛入鄱陽湖游弋曾經電致外務部函致英使禁止茲接外務部來咨略謂接英使復函兵輪駛入該湖係按照天津條約第五十二欵辦理等語部復查天津條約第五十二款所載無論何口一語原係本指由海外入中國而言師船既由外海進至長江業經駛入中國口內鄱陽湖在中國腹地本非通商口岸於該款所載捕盜買食取水修理船隻各節自非師船按約應行享有之權再函復該使迄今尚無辨論查同遂令外人藉口嗣後如再有駛入該湖之外國師船應飭該地方官查照本部所復英使原函相機因應以期就範云

●電浙保教剿匪　聞官場消息云駐京美使柔克義君日前照會外部略云湖州教堂地契前有轇轕民教構訟現經官勘驗蓋印一律完結然有匪徒藉端滋事造謠惑衆人心惶惶將有仇教之舉寔恐愚民乘勢激成他變非中外兩國之福希電浙撫飭保教堂教士並派兵剿匪彈壓地面以保全大局等語外部據情電咨浙撫並飭保教按自南昌起一大教案以後各省不逞之徒乘間蠢動煽惑愚民傳爲排外仇教之說此次湖州之事亦不外乎此奉勸諸公勿被其煽惑以貽誤大局爲幸

雜報

●酒後無德　昨由蓋城來人云前數日劉大令醉後獨立公堂左側時已昏暮瞥見二人入署一若負物偃僂前來近視乃二優伶負荷鼓絃大令喝止二伶慌跪具訴因幕賓周某有女十齡是日誕辰在館晏客特呼二伶侑觴公聞勃然即自升堂傳呼皂隸將二伶捋袴重笞四十嚴押吏憤周某擅召優伶入署飭差執周幸決要將周笞辱之奈衆吏役等環跪叩頭代周求免公猶叫號拍案不已而飛籤多頃無敢領者此差公無可奈何乃自退於後堂既而酒醒迴思殊覺鹵莽晨起將浼人向周謝過詎周決意辭幕定要回省通稟上憲幸有闔城紳士中爲調停釋放二伶大令設宴陪罪始歡飲而罷云

●淫犯送案　昨日亭午東署揭示囚犯罪案榜於門旁往來行人聚而攢視之際忽有東郵民人用車送來淫犯男女一名男近而立女僅二十餘齡服色炫華姿容双秀女尤豔麗足著小靴五文新錦尖簇花團行步搖顫咸訝如此妝飾從來罕見或疑係天津人旋出巡勇幷收署內未得詢其姓氏里居云

●車夫被毆　十三日西大廟街裕盛源門口車輛一時麕集行人維艱路旁停貼推貨小車苦力稍爲喘息而巡役過令開道略致遲慢鞭撻立至市人爲之解勸巡捕愈怒竟以槍翅致傷苦力頭顱血流不止其車夫抱頭西去口稱赴署喊冤不知究竟如何云云

●失物無踪　昨有牛莊客人隨火車來營行至東圍門裡忽降大雨車行甚速遺失票包一箇內計現洋五元手票十餘元外捐烟臺會票一百兩托人四出尋覓尚無踪影云

笑林

●湯婆子竹夫人合傳　大槐之國黑甜之鄉有二女焉容質殊異舉世寡儔顧其趣各殊若冰炭居恒避面若邢尹出不同時均爲世所暱云一日婆子湯氏身侏儒狀混沌腹皤皤巨如瓠系不可考或謂元奇握溫後裔與熏籠氏世通譜溫存熨貼其處世也圓融而熱腸不露圭角使人之意也消於老者尤若獨抱春心雪夜御之煖勝羔毳以故士商工賈名媛貞姬暱之膠漆常以不逢漢趙后爲憾輒嘆詫曰使婆子生當其時几華帳底何煩合德擁背其自期若此顧性不可許訂交且慎太妃則著膚如炙令人難耐設觸之使倒便潰決不止床第間頃刻顏冷若鐵懍乎難犯不復向之藹然可親必如俗諺所云用米湯灌注之乃如故一曰夫人竹氏系出湘妃家儋耳谷長身玉立仙骨珊珊招之以侑清夢但覺冰肌瑩潤滑不留指几簟生涼撲去俗塵三斗然心虛以淨體貞而堅可近不可狎雖登徒子亦相對無言撫之蘧然一覺性不妒列屋而居從不爭夜秋風起團扇捐匿迹不見明年夏歡然如故若忘前此之薄倖也者夫人之德可謂至矣爰爲之銘曰噫寒煥之屢更兮厥用殊而不同具空靈之妙質兮人不吾知吾將誰從

●僞講自由　某教習不自檢束常三五成羣暗在學堂吸烟適是日煙多油少油已涸而烟尚未完欲喚童私買又恐爲監學所知乃私入廚中斟了數兩廚人不悅謂教習曰你輩日日講自由我想連食鴉片烟都係自己之油也教習不與辯携油壺竟出

NEWCHWANG, SATURDAY, MAY 12, 1906.

The weather has been most fickle for a few weeks past. When one day it looked like raining into the night and days ahead, the stars would be seen out in all their splendour over the slumbering city. Now the lowering sky will forecast a wet day, then the bright sun will roll out smiling only to be shut up too soon again behind the banks of clouds.

Meantime, the young wheat is growing taller; wild flowers are coming out in the grass; and stray butterflies have appeared in quest of gay pleasure.

Lt.-Col. and Mrs. Yokura gave a tiffin yesterday in honour of Mr. Cotes and Mr. Meyer. Mr. Sammons and Mr. Fulford were also present.

Mr. and Mrs. Gleason and their little daughter were seen off at the Customs jetty by a large crowd of friends at 1.30 yesterday afternoon. Among those who went over to Niuchiatun to bid godspeed to the departing family were noticed Mr. anp Mrs. Ross-Thomson, Mr. and Mrs. McCaslin, Mrs. Van Ess, Messrs. Segawa, Shaw, Irvin Thomson, and Waddilove, Drs. Daly and Phillips, and Capt. Yotsumoto.

Mr. Sammons and Lt.-Col. Yokura both being unavoidably engaged elsewhere at the time, had made a farewell call on the Gleasons.

The Rev. Mr. and Mr. Gillespie and their children started for Peitaiho yesterday morning. The Rev. Mr. Webster took the same train for the seaside resort, but is expected back to-day that he may leave for Liaoyang on same urgent business connected with the mission work.

The Administration has recently received from Tokyo a package of the printed map of Newchwang drafted on the scale of 1 3,000th. All the principal buildings are given on the map, together with most of the improvements and changes lately introduced along the waterfront and also in the matter of roads.

To-morrow (Sunday), if the weather is favourable, a riding excursion promoted on the initiative of Mr. Ross Thomson will start at 8 a.m. for Ta-Ping Shan (太平山), a mountain rising this side Ta-shih-chow and about 13 miles from the port.

Mr. E. Dreyfuss representing Messrs. Ullmann & Co., the great watchmanufacturers and jewellers of Paris with branches at Hongkong, Shanghai, and Tientsin, has lately arrived at the port, bringing with him a large and fine assortment of jewellery and gold watches of varied descriptions to be offered for sale.

The articles will be on view for a few days, so we hear, at Mr. Decker's store next to the "Manchuria" from 10 a.m. to 5 p.m.

Yesterday's Tokyo Intelligence.

Marquis Ito started for his villa at Oiso on the 10th, but is expected back in Tokyo on the 15th.

Mr. Wakatsuki, Vice Finance Minister, and his party who were on a tour of Manchuria and Kerea, were received in audience by the Korean Emperor on the 9th and left Fusan for Tokyo on the following day.

The Siamese Prince left Tokyo for home on the 11th.

It appears from reports that the conversion of Chinkaiwan into a naval port has been decided upon.

Col. K. Oshima, Imperial Artillery, has been appointed head of the Japanese Commission to demarcate the boundary line in Kabafuto (Saghalien) and will depart from Hiroshima on the 20th inst.

An experiment is on foot for establishing a submarine telephone connection between Aomori and Hakodate across the strait.

By a late Imperial Rescript at Peking H.E. Tang Shao Yi, Vice-President of the Waiwupu, has been created Minister of Revenue to superintend the Customs service of the Empire.

This new departure on the part of China plainly aiming at the ultimate transfer of the system into native management has come as a genuine surprise to the Ministers of the Powers at the Capital and the matter remains a subject of serious discussion among them.

The 8 languages into which the "Bushido" has been translated are French, German, Bohemian, Indian, Polish, Greek, Russian and Japanese, the last of which, curious to relate, is now under preparation and will be out shortly.

營口旅館料理店案內

旅館 料理 第一營口ホテル 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 北片通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 麻田九一郎

料理 瀛洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 營口町街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館 料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 永世街百二十七號 店主 齋藤富次郎

料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 並ニ溫泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大盛

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案內

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一二五）

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號） 奉天小西關大街北側

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 溫泉付大勉强キレーヂヲイシと（電話　號）

旅館料理店 日の出樓 樓主 大瀨七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號） 奉天城內灰市街東華門宮殿東側

旅館 料理店 梅松館 館主 押尾富次（電話　號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき燒 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

旅館料理店 旭館本店 旭館支店 奉天大西關 奉天十間房 館主 原田新吉（電話　號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園穂

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之丞

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一二七号 上松榮治郎

M. Iizuka,

CONTRACTOR,

ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

天然清水氷發賣廣告

奉天 倉庫ノ儘 毎倉庫約二十五万斤 特約一万斤以上

右發賣仕候間至急申込相成度候

奉天小西門外內 大仁洋行

一和洋御料理 遼東館

遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀と旨とするは弊館の特色に御座候

御料理 旅館 扶桑館

奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号

館主 堀田ハル 電話　号

御料理本店 奉天小西關新來當街々 金城館（電話十九）

御旅館 奉大小西門街大什字街 金城ホテル（電話二〇）

御料理支店 營口永世街 金城館（電話八三）

御旅館支店 營口永世街 金城ホテル

御料理支店 大連市吉野町 金城館

御旅館支店 大連市吉野町 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候

猶ほ奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとてこゝに一言申添置候

和洋 會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

各位樣

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 幷に製本

弊所特色

●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確

營口永世街東入口二本町角

川本活版所

新荷着

高等麦酒スペシヤルライト

スペシヤルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尙夏期唯一の好飲料なり

釀造元 大日本麥酒株式會社

滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

第二回新荷着

金舛洋行

盛進商行

爲替相場（五月十一日）

日本向	百〇二圓二十五錢（軍票百圓に付）
上海向	七十一兩二十五錢（同）
天津向	一百〇二圓八十七錢五厘（百弗に付）
芝罘向	一百〇三圓五十錢

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類

一半紙	一〆	二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙	仝	七圓五十錢
一仙花紙	一帖（六十枚）	六十錢
一塵紙	一〆	一圓七十錢
一仝		
一狀袋	二十枚綴	三錢二厘以上四錢
	百枚	十三錢以上十八錢

室內裝飾品及寢具 矢野洋行

一蒲團	三枚組	六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン	十帖	六圓五十錢以上三十五圓
一暖爐		五圓五十錢以上十四圓
一仝三組道具		一圓五十錢以上一圓七十錢
一疊		二圓六十錢以上三圓
一薄椽	十枚	八圓
一麻緞通	一疊敷	三圓
一綿緞通	仝	三圓五十錢
一由加多織	仝	一圓七十錢
一白毛布	二枚綴	八圓以上十五圓

MANCHURIA DAILY REPORT.

Subscription 4 cts. a copy

80 cts. per month.

$2.30 per 3 months.

$4.80 per 6 months.

本紙定價

一枚ニ付	銀四仙
一ヶ月前金	銀八十仙
半ヶ年前金	四弗八十仙
一ヶ年前金	銀九弗六十仙

廣告

二十一字詰一行一回	銀二十仙
半ヶ月以上	銀十五仙乃至十仙

滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

豪市元豆六吊百至六三吊二百
高粱價錢五吊四百文至五吊
參車共上車三十餘輛
達車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙 一仝 一圓八十錢
一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戶棚 七圓五十錢以上十圓

一絨毛布 一枚モノ 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ヶ月以内 銀十五仙乃至十… 一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
横濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
竹島丸 十八日出帆太沽、芝罘、門司、神戶
營口丸 廿四日 仝
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口 代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
日勝丸 十八日 門司、神戶行
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口出帆廣告
盛航丸 廿四日入港
能登丸 廿六日入港
代理店 ブツレユ兄弟商會
東營口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋襪火柴鐘表等類價値格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸業務所以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至
總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內
電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悮
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
九三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許殺運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顔色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆治來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
專往東洋各埠
摩耶山丸 潁朝丸
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌啤酒日本淸酒一概俱全另有淸國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罇詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

三井
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話 第六十六號 第九十一號

周
鐵道 遼河 裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

飯塚工程局 材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需
本局主人啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨與交本號及各處分莊運送決無悮失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
櫃開設
東 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同內

上海 中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專賣之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

志岐組 木料棧 材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇 英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮蔵

丸重洋行
貨物運輸
啓者本行前在營口專賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或斗家屯火車站構內分莊面議不悮
電話 營口 拾八番 牛家屯 四拾六番

東三省電報總局廣告

援運啓者頃接上海電稱 各省將軍都統督撫院提鎮藩臬運道臺各關局廳均鑒 美屬舊金山地震成災 僑寓各國商工民人驟遭慘厄 美廷迅即救援各國亦均自救其僑民 華商三萬餘人產業全燬 仰蒙 聖慈沛發肆萬兩 飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民 因而寓滬紳商奮起 一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩 寓滬粵商湊集洋伍千元 藉示華商以 美金電匯一面仍偕各紳商多方設法 朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅 謹此電聞 尙祈 尊處 本擬籌撥款項 請速匯美京梁使收撥或將款匯滬交商會撥取收條爲憑代買美金轉匯 總祈迅速籌濟爲要 呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳棣沈敦和任錫汾周晉鑣會鑄朱佩珍施則敬任鳳苞籌同叩魚 等因合亟錄呈 各貴官 商惠鑒 如有軫念同胞慨籌急賑者 請速將款逕匯美京或上海商會 否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉 以期迅速救我僑民 不勝企禱謹啓

東京電報

●ムンム大使の入京　新駐東京獨乙大使ムンム男は十二日入京直に永田町なる同國大使館に入れり

●外相と駐英大使　林大使外相たらば小村男駐英大使たるべしとの說高し

●若槻次官一行の敍勳　九日韓國皇帝に謁見せる若槻次官の一行は夫々敍勳の沙汰ありたり

●義和宮請待會　滄浪閣に於ける伊藤統監の義和宮請待會は盛に行はれたり

●李容翊の所在　韓國李容翊は目下浦鹽斯徳に在り

●水產會社の設立　澁澤榮一牧朴眞等發起し三百萬圓の水產會社を起さん計畫あり

●日英銀行開設計畫　澁澤大倉等と倫敦資本家との間に計畫中なる日英銀行開設の議は目下進行中なり

●無線電信と伯林紙　我海軍の無線電信發明者木村技師に對し伯林新聞は技師の發明は謬說に出づと罵倒し木村技師亦大に辨明しつゝあり

●若槻次官一行の入京期　若槻次官一行十四日晚に入京の豫定なり

●日米版權條約　日米版權條約は二十八日批准の上公布さるべく彼我飜譯は自由なり

●井上伯の歸京　井上伯本日歸京せり

●シップ氏夫妻入京　米國富豪シップ氏夫妻韓國漫遊を終へ再び入京す

●露國議會開院式　駐露本野公使よりの來電に據れは十日露帝は冬宮に親臨議會開院式無事に終了せりと

●林氏外相就任說　林大使は伊藤侯の勸めにより專任外相と爲らんとの說あり

(以上五月十四日發電)

北京電報

●英土問題の落着　久しく紛擾中なりし英土問題も今回土耳古の埃及領內より撤兵する事を承諾せし爲め該問題も愈々落着を告ぐるに至れり(十四日午前九時四十分發)

●馬賊と砲銃彈　黑龍江將軍は日露撤兵後馬賊勢を增す故砲銃彈藥の輸送を乞へり吉林將軍亦同樣の請電を發せり

●モリソン博士と清國稅關　モリソン博士曰く清國稅關の改革に就きては其外國債務を辨濟し終る迄は列國は干涉せざる旨を清政府に通告を爲すを要す彼は關稅收入を陸軍費に轉用せんとするなり

倫敦電報

●稅關回收と英米公使　稅關回收の上諭に對し英米公使は突然稅關官吏任命權を總稅務司より奪ひたるは不都合とし强硬の抗議を外務部に提出せり獨佛公使は稍々冷淡なり

(以上五月十四日發電)

●英國外相の演說　英國外務大臣は下院に於て土耳其の要求過大なるために問題の區域をタイー以外に擴張せり又スエズ運河の安全を仲裁裁判に附すると能はず國境限定の最良方法は英國が申出し如く共同委員の手に托するにありと演說せり

●傳道の活動地　カンターベリー大僧正は傳道會の席上に於て日本は將來に於て傳道上活動の地となるへしと演說せり

●敎育案二讀會通過　四一〇に對する二〇四の多數によりて敎育法案は第二讀會を通過せり

(以上五月十一日發電)

●土國外相の訪問　土耳其外務大臣はコンスタンチノープル駐在英國大使オーコンノル卿を訪問せしに卿は申込條項の一部を拒絕して英國の要求に全然同意を表せんことを望み且最後通牒の期限盡くることに付て注意を喚起せり

(五月十二日發電)

雜報

●鐵道授受　みちくさの記(四)　はまのや

驚鷲樹は戶數五百、此近邊に於ける商業繁昌の地、四平街にある露兵往々副食物の買出しに來ると、以て此邊に於ける有數の市街なるを知る、曾て露兵の駐屯し在りし時其聯隊長は毎日二百圓宛の日稅を同街に賦課徵收之れを私したりとなん將又同街中に嬋姸美人の聞へ高き一女を强て毎日二時間宛を招致之を姦すと尤も之れに對する流涎料毎日五十金を某女に授けたりと云ふ

鳥交るこれを見て居る露兵哉

槍を踏だ其古事を思へけり

怖しい聲するものぞ猫の戀

扨て大々大人と成りすましたる御本人、乘り馴れ玉はぬ乘振りを鞍上若心する腹藏なかく〳〵のことにあらず余れは騎るにあらずして乘せられて行くにぞある、先驅先生粗忽ありてはと氣を遣ひてにやあらむ振り返り〳〵見る、余れは振り返り見らるゝことの耻かしければ首尾よく彼れに續かんとす、馬余れを輕蔑してか動もすれは遲歩悠々道草を食はんとす是れみちくさの記との標目は之れによりて命名したのであるかないか余れ又之を知らす先驅の支那兵先生に命して路邊の柳の枝を折らしめ以て我馬の尻を鞭す馬先生コイツはたまらぬと覺りたるなるへし、俄かに態度一變漸く先驅に亞いて行くこと、はなりぬ、下に居ロ〳〵と言ぬばかりに先驅の支那兵先生が嚴かに發する聲蹕の聲は整調肅々たる八個の蹄音に和して一段長閑なり

長閑なり濶歩々々と八ツの蹄

春風や手折らんとする楊の木

春長閑楊の枝を鞭にして

道大いに渉れり午後三時半に於て之れより四平街に十五淸里といふ双樹子なる一寒村に馬の足搔を止めて喬家店となん呼ふ旅店に憩ふ異隆泉の客舍と違ひ穢なきこと言ん方なし一宿の主人筆を携へ來れり筆談を挑む余又問ひに應して答へ、彼れ又質すに對ふ、此家茅屋に育もやらすなりるにてそわせりキレイならざれ繪にある唐子の抜け出したる樣なるか幾人となく來てさも珍らしさふに余を瞥見す、可愛らしとも可愛らしき余ポケツトを探りて小銀貨五個をつかみ出して銘々に一個宛を與ふ、彼等嬉し欣んで相互に顏見合せて嬉々たり、この事あるを聞傳へてか來るは〳〵新來六人の子供等彼れに遣りて之に與へざる譯にも行かず、更らに又一個宛を惠す乃ち合計一圓十錢を散財したる也

加賀樣になつた氣取や梅の話

錢を蒔伊勢路の春を思ひ島

四平街に着したるは午後五時半なり四平街は西に驚鷲樹東に奉化、北に八面城、南に半拉門等に各々四十淸里を距て、其中央に介立す、繁昌の地なるへきに事實は否らす戶數僅かに百戶商業徵々として振はす例せは燒酎屋(酒造)もあらす質屋もあらすと以て其狀況を窺ふに足る、此所にも昌圖公司の出張所あり到り憩ふ、時に一行に尾して双廟子を發したる荷馬車十五輛之を護衞する騎兵其他通譯官等より成る我一行の大行李にして糧食縱列は四平街停車場に行くへきを道踏迷ひて此四平街には來れる余少時休憩の後此縱列一行と共に同所より十五淸里四平街停車場に向ふエンヤラやつと目的地に着し一行に合したるは午後七時なりき

●內田公使の歸朝期　此十四五日頃大沽を出港すべき郵船會社の相摸丸にて歸朝の途に就くべしと傳へられたる內田公使は都合により四五日を延期し二十日頃出發するとに決定せるを以て多分二十日大沽出帆の竹島丸に搭乘の都合と爲るべしといふ

●郵便貯金の近狀　更に牛莊郵便局に就て昨今の郵便貯金の現狀を聞くに日々の受入は平均して口數二十、金高七八百圓、其の拂出は口數十四五、金高五六百圓なりと云ふ而して拂出は野戰鐵道附屬の軍屬の拂戾に係る者、就中、最大部分を占むるか如しとなり尙は牛莊郵便局は滿洲各地に散在する我野戰郵便の預入に係る貯金を拂戾す可き滿洲唯一の拂渡局なれは、苟も野戰郵便局に貯金を有する者にして滿洲に於て其引出を必要とする者は悉く牛莊郵便局に請求する事となるを以て單に野戰鐵道の附屬員に限らす拂戾を要求する者は滿州一体に亘りて其他に尙ほ甚だ多しとなり聞く所に依れは牛莊郵便局の貯金の未拂は毎日の殘に於て實に二千圓以上に達すと云ふ蓋し滿洲各地の野戰郵便局の取扱に係る貯金か悉く牛莊局に其の拂渡を要求せらるゝか爲ならさる可らず

●石塚民政長官の歸署　關東民政署長官石塚英藏氏は豫て若槻次官一行と滿洲占領各地及び京義鐵道沿線の地を旅行中なりし所去る十日午後五時樺太丸にて大連へ歸着せりといふ

●大連の彩票當籤　大連にては去る十三日第四回彩票の開票を行ひたる所一等より三等に至る當り籤左の如しといふ

頭彩　三五六

二彩　一八、九七六

三彩　一六、三六三

右の中頭彩及び三彩は大連に二彩は旅順に孰れも落ちたりといふ

●森病院の齒科近況　既記の如く永世街なる森病院には去る一日より齒科を開設せるが昨今設備大に整ひ治療臺の如き歐米最新式のものを用ゐ助手には特に女醫生數名を置き專ら懇切を旨とせるを以て開設日尙淺きに拘らず患者日に踵を接して到り兒島主任齒科醫は寢食を廢する程の多忙を極め居れりといふ因に同院の齒科は永久に存續せしむるものなれは世の一時的營業者の如く姑息の治療を施して高價の治療代を貪ると無く施術最も丁寧にして代價亦特に出來得る丈け低廉にし如何なる階級の者にても安んじて治療を受け得べしとなり

●彩票發售所の不親切　彩票は信用を主と爲す翅に其抽籤の公平無私なるのみならず各地發售店に於ても專ら公平と親切とを旨とし購求者に對し些の疑念あらしむべからず然るに前回の如き當地某取次店に於ては當籤番號表をすら購求者に廻附せず主なる當籤の大連旅順のみに落ちて唯さへ獅み氣なる矢先なれは取次販賣所たるもの公平の上にも公平を期し親切の上にも親切を期するにあらされは營口には遂に購求者を絕つに至るべしといふ者あり

●一昨日の早稻田會　一昨十三日晚二本町祇園閣に於て開催せる第六回早稻田大學校友會は出席者二十餘名近來の盛會にして尙校友の送別會をも兼ねたれは校書杯盤の間に周旋し主客各々十二分の歡を盡くして散會せりといふ

●回天堂の寫眞機　當地永世街の回天堂三木大藥房にては專ら賣藥藥種類を販賣し開店日尙淺きに拘らず今回販路を擴張し歐米最新式の寫眞機を直輸入し盛んに賣出し居れりといふ

●田庄臺貯水窖に就て　前號の紙上に田庄臺の貯水窖は余村松之助氏の經營せるもの丶由記載せるも今同氏よりの來書に依れは右は元大盛公司の大竹氏が苦心經營に成るもの丶由にて余村氏は大竹氏が多忙の故を以て其後諸般の設備發賣方法等を引受けたる者の由なれは此に其次第を記して世の誤解を防ぐといふ

●人の噂(一)　今度滿洲を調査せられた新渡戶博士は、有名な學者て、御本職よりは、却て內職の文學が世界の喝采、其著、「武士道」は西洋で大持に持て居る、今の夫人は、文學に惚れたが緣との噂▲本職の農業行政は、又た格別で、元來滿洲發展は、農事改良が第一なことは云ふまでもない、併し個々專攻の農科は、役に立たへぬ、農業行政こそ此塲合に有用で、我等は博士に待つ所頗る多い▲博士と同道した橫山農學士の阿爺さんは、慷慨の士で、憂國の餘り、元老院門前で割腹した豪の者、其弟は森文部大臣で、學士は父叔に鑑みて農學に心を潜めたと云ふこと中々の敏腕で博士の薦間を辱めない▲誰も口を開けは、滿洲發展は農業と、さて實行の段に入つては、お話にならん、土地を借下け、土人の才取するが關の山▲獨り農園會の高野邦基といふ男のみ、自已で始め出した、奴さん中々地味で成功を急かない、滿洲中の領分は大したものだ、渠等を實行者と謂はねばなるまい▲通譯といへは、生た畜音機と思ひしに、案外人物が居る〇〇や、坊主は、通譯界のパチルスで他の面汚なれは論外、井深仲卿や七里鐵花は、可もあり不可もあり、關口春谷は溫良の君子、藤田排雲は不言實行、來原小樹は口八丁手八丁松本松濤は覇氣勃々、草塲金台奇骨稜々として俗に容れられず、粂松稻江の育英家が變して實業となる奇、川內信祥信念的の商估は最も奇、旅順の岡大連の石本は畜音機以外の人物と云ふ(とま生投)

投書　かご

▲今朝正金に行つたら步哨先生目ラ何故敬禮をせぬかと咎めるあの樣な人込の而も狹ば苦しい處で敬禮呼ばりは止して貰ひたいお負に先生は目に付き兼ねる薄暗い隅に立ちて此言ありモ一つお負けに支那人へは何の事も無し隊長さん宜しくお賴み申します(嫌虛禮生)▲年齡二十歲以上三十歲以下の靑年男子諸君は實業に關する靑年會を開設しては如何(靑年の一人)▲元酔月の五郎君よ小生との戀情を破り今更蓮花の操逸を保たんと欲せらるゝか天は此不正を許さず君深く鑑みられよ(元月生)▲僕に最愛の松一鉢あり一週日以來葉に稍々枯色を帶び來り景氣甚た宜しからず之が實驗上の治療法御承知の方は本欄迄御敎示を乞ふ(凋落生)▲一寸御步行の方へ御注告致します當港代々木商會以西の海岸道路は甚しく高低があつて困まる提灯を持つて步行てもそれでさへとツクりかへるとがある表通りの道普請許りで無く裏道もチツトやつて欲しいものである(六一生)

●玉突春季大會　去る十二日午前十時より當地元紳廟街第二軒に於て開會平山小倉二氏の競技を始めとし二人拔三人拔と暫く混戰し午後四時頃より追々色めき立ちて平山氏先づ四人を斃し將に五人拔とならんとせしを斯道の勇將岡田氏に敗られしは殘念なりし夫れより船津氏交つて岡田氏に向ひ奮戰之に勝ち破竹の勢を以て遂に五人を拔きたり岡田氏又猛然起つて河野長崎氏等を破りて五人拔をなす夫より混戰容易に決せず一先つ休會翌十三日午前十時再び開會新進の有吉氏吉田藤本山中石橋國原氏等の五人を拔き相部氏又四人を斃し五人目に奮戰甚だ力めしも老將吉田氏の破る所となり吉田氏漸く勢を得將に四人目に達せんとし同氏の(一八〇)對相部氏(八五)の立合となり吉田氏餘す處僅かに十四點にて相部氏一擧に三十餘點を突き切り前きの復仇をなせしか如きは滿堂の大喝采なりき夕刻より五六新來の士及ひ淚を飲んで退却したる諸勇士も馳せ加はり戰愈々佳境に入り山中氏惡戰尤も勉め勢漸く挽回、吉田氏已に九回迄破られたれ共更に勇氣を鼓舞し辛して長崎氏等を破り共に五人を拔く續ひて又長崎氏起つ氏思らく勇將の勝敗己に決す餘す所陣笠連のみ天津以來の怪腕を振ふは此擧にありと奮戰能く小角藤本相部の三氏を破りたるも四人目に至り福崎(四五)氏の敗る處となりたるは遺憾なりし時に已に夜一時競技の結果

五人拔　船津(一五〇)岡田(一九〇)有吉(六〇)山中(二〇〇)吉田(一八〇)

四人拔　平山(一〇〇)相部(八五)吉村(一四〇)

是れより選手競爭となり四人拔にては相部氏一等を得(本日の六等賞)五人拔にては一等山中、二等岡田、三等船津、四等吉田、五等有吉、となり四時無事散會したるは近來の盛會なりき

●彌凝少尉の葬儀　在遼陽第十六師團騎兵第二十聯隊第一中隊少尉彌凝惟哉氏は去る五日病氣の爲め死去せるが氏は昨年士官學校を出で直に出征し沈毅部下を愛し軍務に精勵しつゝありしに或日命を受け軍事探偵に從事中圖らず病魔の冒す所と爲り不歸の客と爲れるを以て聯隊一同は深く同情に堪へず特に飯島大尉委員長となりて八日祭典を擧行せり式塲は前韓家長子にして聯隊駐屯の地なり午後一時各中隊は整列をなし來賓將校砲兵聯隊長以下數十名參列し本派本願寺布敎使の讀經に續て飯島中隊長砲兵聯隊長の祭文あり次に隊長以下燒香四時半式全く終れり實に聯隊の厚情死者亦地下に瞑すべし

●黃昏の瞥見　日藤の蝙蝠迄浮かれ出るてう暮れ六つ時豆精小屋をぶらりと出づ▲河は滿潮にて江水漫々蘆根さす夕日は水面を打ちて血潮を流すが如くである支那人のヂヤンクは滿帆の風を孕んで一上又一下する▲公園の楊柳は鬱蒼に陰を成し輕風嫋々として季春の長閑さが手に掬ふやうである▲池の周圍を輕快な扮裝で自轉車を乘り廻はすそれを見て居る傍の者迄氣がそよ〳〵して輕く爲る併し其中に紫式部のテ〳〵したのが入雜つたのを見た時には稍ゝ興醒めの方であつた▲園內の彼處此處を若き男女のペーヤが一往一來する……無論男は黑光りに光つた滿洲式美男で女は白粉をごつてり塗つて滿艦飾を施した相引女房である▲稅關の前へ行く江岸の往來奇麗に掃き立てられて拭ふが如くである綠樹の下に或家族の一團が男女壯幼打ち雜ざり四方山の話に餘念無く樂んで居る其樹梢を一羽二羽三羽四羽五羽六羽の燕らしきが掠めて行く黃昏頃であるから勿論何鳥か確と解らぬ▲巳が土窟に歸る衞生局の掃除車に衝突して甲を揆つ馬糞の上へ轉倒る門を入れば我が天地は全く下界である(凸坊)

感懷　劍香閣主

奈此身生太皷奇　輾轉百事與心違

行藏六尺無可用　書劍廿年何所爲

塞上亂雲多變幻　中原落日尙迷離

關河西望人將老　又見春風吹鬢絲

火車時刻

關內外鐵道

上り
營口發　前八、三〇　七、〇〇
溝幇子同　九、四五　九、〇〇
錦州同　后三、四五　二、〇〇
山海關着　六、〇〇　八、一〇
山海關發　前八、一五　五、〇〇
塘沽同　后三、三〇　四、一〇
北京發　前八、〇〇
天津同　一一、〇九　六、三五

下り
山海關發　前七、〇五　四、四五
錦州同　后三、三五　二、〇五
溝幇子同　二、四五　四、四〇
營口着　四、五五　七、五一

東淸鐵道

上り
營口發　前六、三三　后九、三五
大石橋着同　七、三〇　一〇、四〇
大石橋發　前八、〇五　后一一、〇五
新民屯發　前六、〇〇
溝幇子着同　九、三七

下り
大石橋發　前八、一五　后一一、一五
營口着同　九、一〇　一二、一〇
大石橋發　前七、三三　后一〇、五三
溝幇子發　后三、〇〇
新民屯着同　六、三七

諸鐵工製作
鐵山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
營口紋定商會門前
ブツツ
川喜鐵工場

謹告
小生儀旅行中の處本月七日歸營仕候
永世街
山田長

西海洋服店
歐米各國最新流行形
(電話百二十七號)

天氣豫報

營口地方天氣豫報
自十四日午後六時
至十五日午後六時

南の風曇り少雨

昨日の氣溫　昨年と比し

短篇小說 葬具屋(上)

(プーシキン作 吹田蘆風譯)

葬具屋のアドリアン、プロホロフの家財は、悉皆柩車の上に積み込まれて仕舞つたので、其等の車を二匹の借馬は四度も往復して、バッスマンナヤから、ニキツカヤへ運んだ。其處へ葬具屋の家は移轉すのである。渠は舊の店を閉めた後で、戸へ一枚の板を釘附けにして、その上へ賣家又は貸屋と書き付けた斯うやつて。置いて、渠は新しい住居の方へテク〳〵歩いて行く。やがて黄色く塗られたその家へ近づいた何がさて咽喉から手が出る程欲しくつて、随分と大金を抛つて買つた家だが、先生少からず吃驚した。と云ふのは、之を見て毫少も歡喜を感じなかつたからである。新しい閾を跨いで、玩具箱の樣に混雜返した有樣を見た時、渠は喟然として長嘆息をついた。で十八年といふ長の年月、整然と萬端片付いて居つた舊の住居を想ひ起さざるを得なかつた。渠は二人の娘と下女とを愚圖々々して居ると云つて怒鳴り付け、自分も一緒になつて働き始めた。

やがて悉皆片付いた。聖者の繪姿の附いた戸棚道具入れの簞笥、卓子、長椅子、寢床等は夫々奥の間の隅々に据えられた。庖厨や居間には親方の手道具が置かれてある。——種々な色や大小の棺と簞笥とは葬帽、葬式、外套、葬式用の松明で一杯である。入口には看板が高く揭げられて、上には炬火を下向きに持つて居る肥滿な愛神を畫き、その直下に次の文句がある。「弊店にて素棺、着色棺を販賣し、修飾も致し候。又棺は御貸し申すべく、舊棺は修繕仕る可く候。」

娘達はその室へ引き退がつた。アドリアンは住居を檢査した後で、窓の下に腰を掛けて、炎茶器を用意する樣に命令けた。

文學好きの讀者は定めし御存じであらうが、シエキスピイヤもウオルタア、スコツトも墓堀人といふ者を極めて愉快な滑稽な人物として描いた。是れ蓋し對照によつて吾人の空想を一層強く刺激せしめむ爲であらう。然し作者は眞理を尊敬する所からして、それらの先例に追從しない。で止むを得ず申さねばならぬが此の葬具屋の性格は全然その陰氣な商賣柄に適當して居るのである。アドリアン、プロホロフは生平不機嫌で考へ込んで許り居る。極稀渠の沈默が破られるかと思ふと、それは唯娘達を叱り付ける爲許りだ、娘達が働かずに、窓から道行く人を眺めて居たり、或は不幸にも——時々は幸にも葬具を要する人々からして、素的もなく低廉い價を付けられたりなどすると吃度娘達は雷鳴樣を頂戴するのである。

斯くてアドリアンは窓の下に腰を掛けて、七杯目の茶を啜り乍ら、常日の如く苦がり返つて、陰氣な默考に沈んで居る。渠は丁度八日前であつた。死んだ旅團長を埋め出すと、折も折りて車軸を流す樣に降つて來た雨を想ひ出した。それが爲に多くの葬用外套は皺苦茶になつて仕舞つたし、帽子は大抵破壞れて仕舞つたのである、次に渠の考へたは、喪服の貯へが大分心細い狀態にあるので、支出は如何しても免れまいといふ事である。渠は最早一年程もお墓の側で臺々して居る樣な、商人ツルツシンの老夫人を埋葬する時には、多額山吹色に有り付きたいと思つた。然し老夫人は死ねばラスグライ街で死ぬのだ。でプロホロフは彼女の相續人等は、舊約があつたに拘らず、遠いからして、自分の所へは頼みに來まい、却つて近所の葬具屋へ申し込みはしまいかと心配した。

斯んな風に考へ續けて居ると、思ひ掛けもなく扉を敲く音がした。コツコツコツと三度、共濟社員的の敲き方である。

「誰方です？」と葬具屋は問いた。

扉が開いて入つて來た人は、一見して獨逸人の職人たる事が理解る。其の男は至極ニコ〳〵物で葬具屋の側へやつて來た。

「ヤ、御免下さい、お隣りのお方」と渠は笑はずに聽いちや居られない例の露西亞の方言で話し出した。「何うも御邪魔をして相濟みません、……が是非貴方と御知己にならなきやならぬ事がありますので。私は靴屋でゴツトリイブ、シユルツエと申します。貴方の窓の直向ふの家に住んで居りますが、實は明日私の銀婚式を致しますので、貴方と御嬢さん方に是非來て戴いて、食事を御一緒に致したいのです。」

招待は快く承諾された。葬具屋は靴屋を椅子に請じて、一杯の茶を薦めた。ゴツトリイブ、シユルツエは極めて卒直な男なので、談話は段々親身になつて來た。

「時に貴方の御商賣は如何ですな」とアドリアンは問いた。

シユルツエは答へた「エート、商賣ですか私の商品は貴方のとは全く別種でして、生きた人間は靴が無くたつて、その日を送つて行けますが、一旦御陀佛となりや、棺は如何したつて無くつちや、遣り切れやせんやね、尤、と云つて嘆した所で始まらないが、……」

「大きに左樣さ、」とアドリアンは云ふ「然し生きた人間でも長靴の代價を拂へない時には、洗足で歩いてさへ居りや、何とも苦情は云へませんが、乞食が倒死りや、棺は無代でしてやられますさア。」

斯う云ふ具合に、一時談話の花が咲いた。遂に靴屋は立ち上がつて葬具屋と訣別を告げた。で明日は是非、と念を押して行つた。

廣告

緊急廣告

在留邦人子弟小學部(當分尋常科)愈來る十四日より開學候條入學志願者は至急手續きせらるべし

營口瀛華實學院

競爭入札廣告

一重燒麵麭 二万四千箱
但一箱六十食分入

此入札保證金各自見積り代金の百分の五以上右競賣す買受望の者は來る五月十五日より同月二十四日迄(午前九時より午後五時迄)の間に於て現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上五月二十五日午前十時迄に入札書差出すへし

但し即時開札す此契約は滿洲軍倉庫遼陽支庫殘務整理員小野運入擔任す

明治三十九年五月十日

滿洲軍倉庫
遼陽支庫殘務取扱所

注意 殘務取扱所は關東陸軍倉庫遼陽支庫內に在り

森病院

一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す(產婆大道しげ子)

院長 醫學得業士 森嬌
副院長 醫學得業士 長船郁太郎

一本院齒科開設(五月一日より開始)
齒科醫 兒島市郎

森病院(電話一五五)

和洋雜貨

盛進商行

新着
椅子 卓子。窓懸。卓懸。花莚。マツト。油多加織。ビロードセン。

大勉強

一會席 三ツ鉢吸物附 御一人前銀三十錢より
一まめし 御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候

營口元神廟街二〇九號
月ロ翁亭

質屋營業

精々勉強御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南憲第三十六號
北斗洋行質屋部

御料理

板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ雪月花ノ會席ト仕餘打テ一圓ノへ御意ニ從ヒナンデモゲンシンビヨガイス
新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや
藝妓 仝 松吉 仝 ふで 義太夫 二〇か 牛莊
御客樣方

高野孟矩法律事務所

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ

東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地
右當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱宇都宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

御料理

滿月
平野町(電一六二)
滿月支店
平野町入口
店主 青木勝惠

一稅關手續

一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委託販賣
一荷物保管

右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尚日々●の腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候

取扱 營口市街 永世街 鐵道驛前
精心洋行

銘酒劍菱

新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也

遼陽停車場向ヒ
池上出張店

資本金參拾萬圓 日清合股

昌

滿洲昌圖株式會社營口分局

營口元神廟街第貳九八號

總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司中經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

衆辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中
倘蒙遞運貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各分局賬房面議爲荷特
謹白 倘路途倘有水漲毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此

瀛船入港案內

盛航丸 廿四日入港

御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尚御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

輸出入稅關手續
解船人夫運搬請負
水陸輸送貨物仲次所
諸品委托賣買
倉庫業

西北街
德重洋行

發賣

料木、杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切御賣
日本酒春駒一手販賣

營口元神廟街
捌荷洋行
(電話一四七番)

廣告

大阪鐵田組支店開設

今度新に內地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らす御注文の程奉祈上候

假事務所營口西北街高砂ホテル內
主任 鐵田米吉

材木販賣 荒物

營口永世街第一八四號平野町
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店

美味安價西洋料理

牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

白米、◯醤油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約 其外和洋酒類

營口永世街第廿八號
（營口無比廉價販賣す）
大原洋行

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

GERMANIA BRAUEREI, TSINGTAU

Light Beer after Pilsener Make.

Dark Beer after Munich Make.

in barrels of 25–50 litres . . . per litre $ .28
,, cases of 48 1–1 bottles . . . ,, case $11.50
,, ,, ,, 80 1/2 ,, . . . ,, ,, $13.50

JULIUS JASPERSEN
Sole Agent for Manchuria.

青島釀造獨逸ビール一手販賣廣告
ペルシナー種ライトビール
ミユニヒ種 黒ビール
二五リートル入ヨリ五〇リートル入マデ樽各種アリ
各一リートルニ付廿八錢
大瓶四ダース入一箱十一圓五十錢
小瓶八十本入一箱十三圓五十錢
滿洲特約一手販賣店
營口 徳茂洋行
支配人ジユリヤス、ジヤスパーン

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

生徒募集
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

招入學生
營口瀛華實學院
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點過期不候特白
營口瀛華實學院

（營口永世街）
回天堂三木大藥房
存案 天 招牌
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及綳帶枝料
●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●紫外醫藥應用所有一切各貨一應俱全
（電話百九十番）
凡所備置各貨均皆貨實心撰擇料正品物期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤耑此佈告

工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東清鐵道 遼河 貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール 日本酒澤の鶴 洋酒、食料品 和洋罐詰、食器 内外煙草、葉巻 エジプト、文具 化粧品、金物類 肥前白米、醬油 酢、木炭、其外色々
御並に小賣
彩票
毎月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
（電話一三六番）
材木 樣子 木炭 發賣
塩川商會
遼陽小西門内
鹽川商會 ●建築
外に
用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

自造 煉瓦◯瓦
並に各種石材販賣
口靑堆子
加州組
（電話八十六番）

ペンキ塗請負 京阪組
營口豊濟門街李俊宅前
榎本康平

關内外蘆漢鉄道貨物運輸（但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候）
一海關手續（但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱）
一鈔關手續（但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱）
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館東京樓
店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）
即席和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月 日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

一、税關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場時計北店三ノ二階樓階
宮原公司

開業
日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
月 日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司

廣告
從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理と始め御一人前五十錢迄とも定め至極御手輕に御子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候
營口二本町
梅廼家
田村瀧太郎

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生裝飾等細大漏らさす御客様への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候
敬白
營口二本町
祇園閣旅館部
主人
（電話一四四番）
各位

宮門抄

十六日
兵部　太僕寺　廂白旗值日無引見　西安將軍松溎請訓
四川總兵張士翰請訓　江蘇臬司朱家寶到京請安　繼綱恩
奎伺候　召見
召見軍機　朱家寶　繼綱　恩奎　太和殿看版
皇上明日卯初二刻升
陳璧遞封奏一件

上諭恭錄

十六日奉
上諭戶部尚書鐵良着派充督辦稅務大臣外務部右侍郎唐紹儀着派充會辦稅務大臣所有各海關所用華洋人員統歸節制欽此

論說

論中國立憲當視國民程度爲遲速之期

孟子載。齊王爲巨室。必使工師求大木。得大木則王喜。以爲能勝其任。及斲而小之。則王怒。以爲不勝其任。此數語。正可爲今日中國民格國勢相比例。夫巨室必需乎大木。得則不喜者。以大材支大廈。實相稹而相成也。若斲小其材。則不足以成此巨室。將有易於謀始。難於落成之憂。以巨室而木小。尙復慮結構難資。觀瞻不壯。況國政之基礎。法紀之創設。倘有材不敷用。勢不諧稱之處。欲望其敷設完成。組織美備。蓋亦難矣。中國維新之意。創其議者。已歷十稔。其間非阻於衆謗。卽格於群疑。故遲遲其行。愈延愈緩。迄未實施。坐使良法善治。莫由發起。稗政積弊。依舊因循。致弱致貧。伊誰之咎。邇者朝廷破除成見。鋭意經營。設學部以注重教育。思陶鎔全國之人民。設警部以圖保治安。冀維持閭閻之生計。並已派親信大臣。擇其才識素優。通曉時事者。分赴各國。攷察政治。以爲立憲之根底。法良意美。非聖明獨斷。曷克臻茲。第國政之開通。必以民智開通爲起點。國力之膨漲。必視民格之膨漲爲轉移。可使由不可使知。在上古閉關自守之時代。則群處於熙皞之天。而相忘乎帝力。如今日交通時代。萬國競爭。優勝劣敗。甲國之民格日進。則甲國必日益强。乙國之民格之稍低。則乙國必日益弱。無論勢有必然。理亦如是。若猶以古方治今患。固見其難行。以舊法禦新機。更覺其不可。譬如彼鼓輪而我盪槳。則登岸孰先。彼快械而我敗戈。則制敵孰勝。雖在至愚。必能一言而立辨。無待思維圖度而始決焉者也。居今日衡時勢。列强國民之程度。率皆日新月異。歲不同。進步之速。瞬息萬里。精於算數之家。亦無由測其速率之所至。實世界可驚可愕之事。中國人民雖多。類沾染數千餘年之錮習。深印入於腦筋之中。難期振拔。推原其故。要有數端。日愚。歷朝專制行政。壓力至大。凡在庶民。皆無與聞政事之權。卽散職卑官。尙難悉具原委。在野之人。更無足論。況讀書明理者十之一。耕氓野老。目不識丁者。比比皆是。朝廷之條敎。地方之政令。目覩身親。而不解所謂。縱令稍識之無。中國文理深卒。字體繁賾。淺嘗消涉。文詞意旨。多不能通。以致久而愈蔽。無術進於文明。此愚之病也。日惰。貧民自謀生計。食力爲先。設人人勤其職業。以中國之地大物博。何有不興之利。不善之工。殊不知農家之子。有父兄督責。尙能服勤南畝。不爲坐食之人。其他居非鄉僻。身無恆業者。往往任意廢曠。其弱而文者。流於乞丐。落漠窮途。其强而悍者。或魚肉同儕。武斷鄉里。甚或與匪爲伍。始而偷竊。繼而搶刧。勢不至爲盜爲賊不止。貽害鄉邦。爲民之蠹。爲國之蠹。何莫非此等惰民。有以致之也。日惑。愚民未嘗學問。而心好狐疑。每有智士達人。見於著述。演爲論說。以期收化民成俗之效。而無知之民。多以爲此渺冥恍惚之詞。彼無集義研理之學指。而以高論爲迂。以新理爲謬。腐說淫詞。乃皆深信不疑。以爲實有其事。不刊之典。道聽塗說。謬種流傳。坦然不以爲怪。是非倒置。定見毫無。此惑之病也。日僞。民無遠見。而飾其非。衆鮮熱心。而行其詐。他人製一新器。不旋踵而贋鼎滋多。他人濬一利源。一轉瞬而壅塞甚夥。無眞誠。無愛力。而惟欺僞之是尙。所以無發達之實業。無進步之文明。職是之故。曰散。集千腋可成美裘。聚丸泥可封函谷。厚集其力。則百事可成。若人民雖衆。而勢如散沙。則亦難興利剔弊。動作有功。外人每譏中國人無愛國心。卽散而不聚之病也。（未完）

中外要聞

●中俄約欵之傳聞　某處接得滬電據云中俄交涉頃漸有進步自開議後迄西五月初二日議結條款開列如左

一、俄軍除守備東清鐵路之軍隊外其餘遵照日俄和約由東三省一律撤退

一、黑吉兩省伐木一事援照中日鴨綠江右岸木植條約由中俄兩國合股開設木植公司辦理

一、中俄兩國援照江吉兩省之例開設木植公司伐採木料

此項消息是否確實本館未能探悉若係確實俄國所獲利權甚鉅而中國失去利權決非淺鮮如俄國遵照日俄和約撤兵固應然之義務不必與中國訂約聲明也蓋日本前與中國訂約聲明如俄國允認減期撤兵則日本亦遵照撤兵並允認減駐鉄路屯兵其意蓋欲勸中國令俄速行撤兵以保全三省大局也然議約之結果業已如斯執筆人欲言而不忍言也噫外交失敗固無可責至於俄國居心殊爲可惡且伐木一事雖援照中日條約允認此權而中國之於日本與其於俄國不可同日而論此不待識者已明矣況俄國所獲利權比較日本不啻倍蓰哉想此次當中俄交涉之局者係唐侍耶而侍耶熟悉外交意見强硬決非墮于俄使籠絡圈中之人何爲允認失去主權如此之條欵哉或此係傳說之誤抑亦欲中傷唐侍耶者之揑詞歟探詳再佈

●美擬改訂華工苛約　昨據英電稱近日美政府因中國抵制美約之漸加其勢力頗抱畏懼之懷等語但電音簡撻雖無由悉其如何情况然美政府庶由此生其悔悛之心將彼禁止華工等種種苛約次第斟酌改良以便兩國商務之暢旺則得伸和好之誼而不致永積士商民人之憤怒亦爲幸已近聞美政府頗有悔悛轉機願修曩昔之和好爲現任商務卿前曾宣明擬修訂禁約之意見向議院遞求贊成雖未經該案之訂成而行將見其結案蓋亦無庸疑義云茲將商務卿原案譯列于左以資參核焉

一美政府由稽查移民局派駐委員於中國以稽查渡航移民其係實藉有確據品格足保明者預交付入國之護照俟內渡之後由移民事務官行照料必究其無欺瞞等情節而後准認登岸

二凡係登岸入國其經移民事務官之遭拒斥者均准向美政府控告

三將美國現在華僑戶口一律即行調查

四凡對於中國士商民人之願復歸於美國者則將一切禁止之條項均宜行裁撤另訂成一便法以資入國但經移民事務官照料確有認明者並得享有入國之權利

以上條欵實據總統羅斯福所飭令而訂成非止係商務卿之意見料其經議院贊成直易如反掌云

雜報

●高邑匪亂現況　日前直隸高邑有庚子拳匪陳老傑勾通贊皇縣妖僧聚衆滋事一節已誌前報茲悉該匪等謠言惑衆僭稱僞皇上僞軍師名目駭人聽聞該縣知縣銘彛雖撤任留緝現匪首未獲已由袁督奏請革職永不叙用並將查辦之委員革職刻下匪首陳老傑在逃未獲已札飭各附近州縣一律嚴拿聞錄將羽黨十數人拏獲刻下情形略見平靜不致釀成巨患矣

●永順匪抗官軍　聞官場接到湖南電報永州府屬之永順縣地方有會匪起事官兵往剿該匪竟敢抗拒

●埋骨異鄉　昨聞北來人云有山東省掖縣民李氏兄弟甲乙二人因無恒產共事孀母每鈌菽水之資乃從來鄉里來關東充作鐵路苦工多有致富而返者今春因亦籌湊資斧辭親東游偕往哈爾濱處冀謀營生奈無所執業即有作苦之業而終日所得不敷一宿店資每宿露野竟致弟乙餓久病斃埋骨僻陬兄甲誓貧弟骸歸里奈資斧毫無不能如願因日夜守塚悲號聞者多爲酸楚時有周恤之者第未識其志能遂否

●農田沾足　昨聞外城所來人云今春奉天等處所有農田因時雨甚普又加近日甘霖迭沛四野均經潤透耕者相慶此際萌芽已茁行將一望青葱云

●產嬰良劑　今聞埠民傳云西街有居民許姓之媳年二十齡雅靜端莊頗嫻婦道而前因落產維艱經晝連宵莫狀其苦以致穩婆扼腕醫藥無靈於是舉家涕零只有待死而已乃幸遇一行人某甲施良方一劑急爲煎服刻即臨蓐竟舉一男且婦嬰俱保無恙一家歡喜感德難銘遂誌該方以流傳濟世云

柞木支五寸截作五枚　當歸五錢　川芎四錢　熟地五錢　蓋龜板五錢　女髮一團（或本產婦髮一名均可）水三盃煎六分温服即產甲言百試百效云

笑林

●老鼠得力　鼠子作耗最爲厭憎從未聞飼之以糧而得養其力者乃據客述金陵花山僧寺中老鼠極多大者幾與貓等十百故意馴而象之以示奇特也遇有香客至即持簿乞募鼠糧客或者首肯彼乃擊木魚闍闍然鼠聞聲畢集揮始去或問供養此何用則云寺在山顚正殿高峻無比屋上多生瓦花房屋必漸頹壞若請人工補漏失足堪虞賴有此鼠上屋啣盡瓦花偶有損處用彼承修非亦食祿之報乎一客頗諧因向索取數頭携歸傳種僧問何爲客曰世間有此得力之鼠養些在家免得再去招雇泥水匠也好

NEWCHWANG, TUESDAY, MAY 15, 1906.

Mrs. Idogawa, wife of Maj. Idogawa, Administrator at Hsinmintun, arrived at the port from Tairen yesterday morning, in company with Mr. Ishikawa, Foreign Secretary, who had been sent down by his chief to meet the lady on her landing.

Capt. Ota, Imperial Gendarmery, who, as Assistant Administrator, has earned wide popularity for his unfailing geniality is to be shortly transferred to Osaka, prior to his prospective release from active service like all other officers on the reserve list.

Capt. Gejo, Imperial Infantry, who is to succeed Capt. Ota, has been at Newchwang for a few days awaiting the arrival of Mrs. Gejo by the same train with Mrs. Idogawa.

All the party were guests of Mrs. Yokura and departed for Hsinmintun *via* Kaopantze this morning.

It was a little too windy yesterday till quite far into the afternoon when a calm began to settle over the early evening air.

The opening of their tennis courts by Lt.-Col. and Mrs. Yokura was attended by a large crowd of players who mostly stayed till near dusk.

The first thunder-peels of the year were heard later in the evening attended with regular downpours coming on intermittently.

The molestation by bandits of train passengers, Chinese in almost all cases, on the Chinese Eastern Railway has been reported frequently of late. The authorities, aroused to action none too soon, have provided trains with a detail of armed guards. Those who carry with themselves a large quantity of money or valuables and desire for protection may apply to the officer in command, of the local garrison at the railway station, who, if satisfied of the applicant deserving special treatment, will issue a certificate and furnish the requisite directions.

No compensation is expected in return for the favour by neither garrison nor guard concerned. In fact, the interested passenger is strictly warned against offering any at all under whatever guise.

The innovation is to be put in force to-morrow.

At every Japanese military telegraph office in South Manchuria that accepts messages for the public, those in figures representing Chinese characters will be also accepted for transmission from date at the following rates.

For every 4 Chinese characters, 10 sen will be charged for addresses in Manchuria and Korea, and 30 sen for those in Japan.

THE LATEST TOKYO TELEGRAMS.

Baron Mumm, the German Ambassador to Tokyo, took possession of the Embassy on the 12th inst.

The report is gaining credence that, in the event of the returned Ambassador Hayashi accepting the Foreign portfolio, Baron Komura will succeed him at the Court of St. James.

Mr. Wakamatsu, Vice Foreign Minister, and his distinguished party whom the Korean Emperor decorated on the occasion of his reception in audience, were expected back in Tokyo last evening.

Lt. Gen. Prince Giwa of Korea who was sent by the Emperor to take part in the Grand Military Review was royally entertained at a grand banquet given at "Sorokaku," Marquis Ito's villa at Oiso.

Li Yo Yoku, an ex-state-Minister of Korea, whose secret movements abroad have excited considerable suspicion is now at Vladivostock.

The America-Japan Copyrights Treaty which was ratified on the 28th ult. has been promulgated, by which freedom of inter-translation from one to the other language is reserved by either party.

Mr. Schiff the American capitalist, has returned to Tokyo from his tour of the country.

Preparations for promoting an Anglo-Japanese bank by capitalists of the two countries are progressing favourably.

Berlin press has derided as a fallacy the wireless-telegraphic contrivance invented by Mr. Kimura and employed by the Imperial Navy; to which the Japanese inventor has made a reply.

The British and American Ministers have lodged a strong protest against arbitrarily depriving the Inspector-General of Customs of the power of appointing Customs officials. The German and French representatives appear to be less concerned with the sudden departure adopted by the Peking Government.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之取購本處者其價目格外公道貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理　第一樓　營口ホテル　元神廟街九十六號（電話八四番）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　片倉通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主　吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街（電話一四五番）　店主　片山小みつ

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田久二

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主　前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主　直塚勝一

料理　萬梅　豐濱門街第百〇四號　店主　田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町三百五十九号　店主　和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

旅館料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田留吉

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　さるそば　第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の湯角

御料理並ニ溫泉　一力　營口永世街　店主　堀万助　毎日新湯

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　仕松信大緑

料理　都樓　平野町　店主　坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館　奉天館　奉天城内鍾樓南大街　奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理　日清倶樂部　奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主　河野嘉吉（電話　號）

會席御料理　高等御旅館　天神樓　奉天小西門通（元紅葉館跡）　溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ（電話　號）

旅館料理店　日の出樓　奉天小西門通　樓主　大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主　入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側　館主　押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店　大和館　奉天大西關高臺子廟前　館主　今井コノ

旅館料理店　日奉館　奉天小西門外大街　館主　原田清五郎

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主　辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　牛肉雞肉すき燒　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

料理旅館店　旭館本店　旭館支店　奉天大西關　奉天十間房　館主　原田新吉（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

遼陽旅館料理屋案内

さるそば　更科　營口支店　奉天小西門外金城館前

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　林德松

御料理會席　菊水館　主任　朝枝團龍

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀨宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席　玉家　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田清

和洋料理御旅館　滿洲ホテル　遼陽西街西門二一七号　上松榮治郎

今有賓州廳之東老營口街永增盛郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見條付錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

奉天　天然清水氷發賣廣告

倉庫ニ盡　毎倉庫約二十五万斤

特約一万斤以上

右發賣仕候間至急申込相成度候

奉天小西門外內　大仁洋行

一和洋御料理　遼東館　遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色で御座候

御料理旅館　扶桑館　奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号　館主　堀田ハル　電話　号

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船賴朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲內地には左の箇所に出張所を設け海陸輸送及輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也

大阪市西區西道頓堀貳丁目　本店　河邊商店

營口元神廟街　支店　松茂洋行

大連信濃町百十一號　松茂洋行出張所

奉天小西門外大街路　松茂洋行出張所

鐵嶺西門外　松茂洋行出張所

昌圖府驛　松茂洋行出張所

猶東清鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

會席料理　三日月　營口警務課前南に入る

和洋會席　御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町　日本館（電話百三十）

各位樣

第二回新荷着

恵比壽ビール　YEBISU　TRADE MARK　登録商標　DAI HIPPON BREWERY CO. LTD.　TOKYO JAPAN　大日本麥酒株式會社

金升洋行

盛進商行

新荷着

高等麦酒スペシヤルライト

スペシヤルライトはビルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり

釀造元　大日本麥酒株式會社

滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

各國高等雜貨　電話百五十四番

新荷着

歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々

其外珍敷品澤山

營口永世街　川本洋行雜貨部

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候　敬具

活版印刷幷に製本

弊所特色

●印刷鮮明　●價格低廉　●叮嚀專一　●期日正確

營口入口永世街東二本町角　川本活版所

爲替相場（五月十四日）

日本向　百〇一圓七十五錢（軍票百圓に付）

上海向　七十二兩二十五錢（同）

天津向　[illegible]

北京向　一百〇二圓八十七錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表　加藤洋行

一紙類　半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢

美濃紙　全　七圓五十錢

仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢

一状袋　全　二十枚續　三錢二厘以上四錢　百枚　十三錢以上十八錢

一室内装飾品及寢具　矢野洋行

蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓

座ブトン　十帖　六圓五十錢以上三十五圓

一疊　薄様　十枚　二圓六十錢以上三圓

一麻緞通　一疊敷　八圓

一綿緞通　全　三圓　三圓五十錢

本紙定價

一枚　銀四仙

一ケ月前金　銀八十仙

半ケ年前金　四弗八十仙

一ケ年前金　銀九弗六十仙

MANCHURIA DAILY REPORT. Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month. $2.20